

鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事における飛来・落下災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	11~12	店舗新築工事に於いて、既存構造物の解体工事中に大型0.7?バックホーに装着していたアタッチメントの油圧ブレーカーから大割破碎機に取り替えのため、接続用ピンを銅棒にて打撃挿入した際、挿入部に付着していた鉄片が打撃の反動で目に飛散して負傷した。	44	1~9
2	11~12	工場内製造一課にて冷凍スリ身をブロックカッター機械で裁断していたが本来ならスリ身を戻さないが、きちんと切れなかったため押し戻した際、上から降りてくる刃に指が触れ右手人差し指骨折裂傷してしまった。	46	1~9
2	17~18	敷地内にて、高さ2mの足場板の上から資材を受け取る際に、受け取り損ねて、右手の甲に資材が当たり負傷した。	23	10~29
2	9~10	店舗内にて、間仕切壁を解体中に、ケイカル板とタイルを剥がそうとバールでこじたところ、塊となって左足に落ちてきた。	62	—
3	9~10	内装工事において、天井ボード貼り作業中に6尺の脚立を使用し作業していたが、作業中に脚立の脚部が曲がり破損したため、近くで作業していた作業員に覆い被さるように倒れた。	41	30~49
3	14~15	解体現場内で搬出する木材を重機でコンテナに集積していたところ、木材が重機のアタッチメントに挟まり、取ろうとして重機アタッチメントを上へ上げて、その下に入り、人力で外そうとした勢いで、コンテナの秤と木材の間に親指が挟まり骨折と裂傷を負った。	51	1~9
		工場にて夜間作業中、山留材として使用したコンパネを2tダンプから降ろそうとし		10

3	4~5	た時、コンパネを持った手が滑り、ダンプの荷台とコンパネの間に指を挟んだ。	46	~ 29
3	11~12	被災者は、朝からガイダンス棟屋根上軒先パネル取付作業に従事していた。別の作業員が屋根上で硬質木毛セメント板（900m×18000mm、t20mm、35kg）を2人で手作業にて運搬していたところ、1人が手を滑らし放したため、硬質木毛セメント板が垂木上を滑り落ち、軒先にいた被災者の右足に当たり負傷した。	67	1~ 9
3	11~12	会社の倉庫を片付中、アタッチメントのピンを左足の甲の上に落とした。	37	10 ~ 29
4	11~ 12	溶解炉の下で脚立を押える作業時に、上部でスレート屋根材を撤去作業中だったが、下方での作業報告をせずに作業をしていた結果、上から物が落ちて来て肩と首に当たった。	44	10 ~ 29
4	15~ 16	新築マンション3階から5階へ型枠材を荷揚げ作業中、5階にいる作業員が型枠パネルを持ち上げる際に手を滑らせ、5階から4階約2.9m下へ落下させた。その際、4階作業員が落下してきたパネルにより足を負傷した。	23	30 ~ 49
4	9~ 10	場所打杭工事において、安定液の注入が完了したため、ホースを移動するべく吐出口金具の取手にクレーンの孫フックをかけて吊り上げたところ、取手の溶接部が外れ、吐出口金具が落下して金具が跳ね返り、下部で作業していた作業員の左ふくらはぎに当たった。	59	1~ 9
4	10~ 11	資材置場において、6m×2m×2m×厚さ5mmの水槽をユニック車で運搬するため、幅2mで3分割する作業を行っていた。水槽は横向きに置いてあり、水槽内内側から下面→横面→上面の順に切断していった。上面を切断し終わった後、上面と側面の溶接箇所が錆びていてもろかったので切断した上面の鉄板が倒れ、下半身が下敷きになった。	49	100 ~ 299
4	14~ 15	3階西面でALC建込の作業中、ALC版連用ウィンチを操作し版の吊下しを行っていた際に、3FL+3500の高さに仮溶接されていたサッシ開口補強用のLアングル（L=90×90×7L=3350、約30kg）にウィンチのチェーンが接触し、競った状態で操作を行ったためLアングルが衝撃で外れ、被災者の右前腕に落下した。	19	10 ~ 29

4	13～ 14	平屋建ての建物内部からALCパネルをウインチにて吊り上げ作業中、両端I型ナイロンスリングで吊り上げたパネルが不安定な状態にならないよう介錯ロープを使用して誘導作業していたが、吊り荷直下に足がある状態で作業をしていた時にスリングが破断し、右足上にパネルが落下した。	46	10 ～ 29
4	16～ 17	エレベーター取り外し作業中、2階部分レール受け鉄板を別の作業員が取り外す為にボルトをゆるめる作業をしていた。1階部分で被災者が人払いと監視をしていた際に、2階部分よりボルトを外し、声をかけ合いながら作業していたが、厚さ12mm長さ700mm×150mmの鉄板が落下し、1階部分のエレベーターBOXのかどに当たり、予想外の方向にはねて本人を直撃し、顔を裂傷した。	47	1～ 9
5	16～ 17	足場組立中にウインチ作業をしている時、木製足場板（4.0m）をたて吊りしている時、真中の足場板が抜けて落下し、下にいる鳶工に当たった。	23	10 ～ 29
5	15～ 16	資材置場にて、足場資材（1200幅ビティ枠、ビティ棒：幅1200、高さ1700、重量18kg）の整備作業中、頭上にあった資材の重量を甘く見積もり、容易に降ろせるものと思っていた。高さ約2.2mの位置にあった資材を引き降ろそうとしたが、資材のバランスを崩してしまい、支えきれずに右足甲へ落下し負傷した。多少の痛みはあったが大丈夫と思い帰宅したあと、徐々に腫れて痛みも増してきた。	54	—
6	14～ 15	個人宅新築工事現場にて、建方作業中、1階天井パネル上で腰を曲げ、前屈みの姿勢で右手で持った釘打機を使用してパネル同士を固定していた際、鉄の破片が飛来し、右目に混入した。	32	10 ～ 29
6	16～ 17	当社倉庫からモルタルミキサー（60kg）を運び出し、トラックへ積み込む作業を1人で行ってた。ミキサーを抱えた姿勢で押し上げ、荷台へ入れようとしたところ、ミキサーを押し切れずに落ちてきたので、支えようとしたところ、右脚に負荷がかかり、右膝を痛めた。	60	30 ～ 49
6	9～ 10	重量鉄骨3階建外装工事中に、梁荷受けの建方職方が現場敷地内の土間コンクリートの上で、トラック荷台よりレッカーでG梁6本、3～4mを仮置き後、縛られたナイロンスリングを解いたところ、手前の梁が1本、右足に倒れて人差し指と中指を	38	1～ 9

		裂傷骨折した。		
6	10~ 11	鉄骨造3階建て建設工事現場で、外壁仮設足場組立中に、リン木上に仮置きしていた足場支柱材を運ぶ際、右足を支柱材散乱防止の為にあてがい、結束バンドを切断したところ散乱し、右足が支柱材の下敷きになった。	20	1~ 9
6	11~ 12	C棟南側で、被災者がモルタルホッパーの掃除をしている時に、開けて固定していた網の蓋が閉まり、ホッパーの縁に添えていた左手を挟み、人差し指を切創し、骨折した。	68	~ 29
6	11~ 12	倉庫内天井クレーン撤去工事で、クレーン用電気配線を外した時、絶縁体の碍子がぶら下がり、下で作業していた被災者の顔に当たり、右目まぶた等を負傷した。	62	1~ 9
6	10~ 11	敷地西側資材搬入場所にて、15tトラックの荷台上で、鉄骨リン木用山留材の荷下ろし作業中、山留材（H=400×400×13×21、L=1.5m 258kg）をタワークレーンにて吊り上げる準備をして、玉掛けワイヤーを作業しやすい高さにしようとするために、少し巻き上げるように合図者がタワークレーンへ無線で巻き上げを指示した時、玉掛けワイヤーの圧縮止め部が、山留材上端のフランジ部に引っ掛かり、材料が浮き上がり外れた反動でずれ落ち、山留材が被災者の右足の甲に当たり、負傷した。	25	1~ 9
6	1~2	会社の倉庫で角パイプ（20kg）を移動中、誤って左足甲に落とし、打撲負傷した。	35	1~ 9
7	11~12	アパートの横の階段で裏側のサビ取りで、デスクサンダーを掛けていたら鉄サビが弾けて目に入った。保護メガネはしていた。	45	10 ~ 29
7	16~17	足場解体時に11段目（建物8F）から手すり部材が落下して落下防止柵（朝顔材）にあたり搬出のトラックにあたり、下でトラックに積み込み作業をしていた被災者の右腰あたりに接触して負傷した。	23	~ 29
7	10~11	大規模改造工事にて、学校関係者専用駐車場を2日間の予定で南側グラウンドに設置をする作業で、敷板鉄板6m×1.5m×厚み22mmを昨日の続きで敷き詰める作業にて、手前から順番に敷いて左側21枚目の鉄板が隙間調整で鉄板の片隅にフック	66	1~ 9

		を掛けて5cmほど上げた、下に敷いたブルーシートが中にずれたので、とっさに、ブルーシートに手を伸ばした時フックが外れ、右手の甲に落ちて負傷した。		
7	9~10	工事現場で、掘削スクリー引き上げ時、小ワイヤーがスクリーに巻き付き破断し、そのフックが落下した。その際、下でスクリーの泥落とし作業中の被災者のスコップを持つ、左腕に当たり負傷した。	63	1~ 9
7	15~16	解体工事現場にて重機オペレーターが0.4フォークで木材（9cm角長さ3m）の積込作業をしていたところ、木材が半分に折れ、近くにいた手元作業員の背中に当たり、肋骨を1本骨折した。	56	10 ~ 29
7	10~11	社宅リフォーム工事に使用する資材（約100kg）を、自社倉庫に於いて、つり上げた時に、資材がバランスを崩して、左手の上に落下し、骨折した。	34	1~ 9
7	17~18	自社工場内で、組立作業中ホイストで鋼材を吊り上げ、組立台に乗せようとして、足に落とした。	58	10 ~ 29
7	13~14	選果場の現場で壁パネル貼り作業中、屋根から壁パネルを作業員が手渡しで降ろす作業をしている。屋根上の作業員が足場上の被災者へ渡す時に作業員の手が滑り、被災者はうまく受け取れず負傷した。	25	10 ~ 29
7	14~ 15	2階ベランダ笠木を施工している際、ベランダ方立と笠木を釘打ち機にて留め付けを行おうとしたときに、部材持ち手である左手親指を誤射した。	25	1~ 9
7	9~ 10	現場にて足場材片付け中、解体コンクリート塊が、約9mの高さから落下し、片付け中の作業員の頭上・肩に当たり、ヘルメットを着用していたが頭部・肩を負傷した。	23	10 ~ 29
7	16~ 17	倉庫鉄筋補強工事のため、工業作業場において、次の日の段取りのためにガスボンベをトラックに載せているときに、手を滑らせてガスボンベとトラックの荷台で右手を挟んで負傷した。	48	1~ 9
7	16~ 17	現場南東部分の外部階段周辺で、作業用の仮設足場の組立作業中に、仮置きしてあった状態の仮設足場資材（鋼製布板）が下方へ落下し、被災者の両肩に直撃した。	15	1~ 9

9	10～ 11	事務所新築工事現場にて、電線配線作業中に天井面に仮置きしておいた電線が落下して右眼に当たり負傷した。	59	1～ 9
9	11～ 12	倒した外壁と残っている腰壁の鉄筋を切断している時に、壁が反動で下がり腰壁に乗せていた左足の安全靴の上に当たり負傷した。	45	1～ 9
9	11～ 12	現場使用材料を搬出準備中、事業場内の門型クレーンで鋼板を吊り上げたときに、バランスをくずし、荷崩れが起き鋼板が落下、足を挟まれ負傷した。（鋼板550×1000×6）	78	10～ 29
9	11～ 12	被災者は、2階屋内の梁底枠解体後のベニヤ板に付いてる釘を釘抜機で抜いてる最中に鉄片が右眼に入り負傷した。	39	30～ 49
10	18～ 19	基礎型枠組立作業中に根伐底で、型枠材の建入れを調整中に、釘止めをしていたパネルを調整する為、一旦釘を抜こうと釘抜きで勢いよく釘を引き抜いた際、抜けた釘(長さ65mm)が飛び、左目に当たる。	22	10～ 29
10	16～ 17	塗装工事現場に於いて、作業が終了し残ったペイント缶（一斗缶）をトラックの荷台に積み込む作業に従事中、手を滑らし持っていた一斗缶を足の上に落とした際に、左足の第4指・5指を骨折したものである。	45	1～ 9
10	11～ 12	基礎ピット内にて型枠解体作業中に型枠解体スペース確保の為、枠組足場を押したところ、足場上に仮置きしていた仮設材が落下して、左手親指にあたり、怪我をした。	43	1～ 9
10	9～ 10	基礎工事中現場で、生コン打ち込み作業中に、ポンプ車のホースから出ている生コンが、型枠に当たり、生コンが足に掛かった。	22	1～ 9
11	11～ 12	資材整理作業のため25tラフタークレーンを使用し、キーストンパネルを移動する際、吊荷が滑り落ち、被災者の左半身に激突し、はね飛ばされて倒れ込んだ。	24	1～ 9
11	8～9	第1工場生産部単発エリアのレイアウト変更中で、当日は増肉パイプ1号ラインの150トンプレス機などを移動していた。工場の高さ4.55m付近の壁の横梁（H鋼）上に通している設備用電源配線をアルミ製の脚立を長さ4.1mに伸ばして、3.2m付近まで登って高所作業中に落下した。脚立の脚と滑り止めゴムキャップは付いて	67	1～ 9

		いなかった。補助員を付けていなかった。落下原因は本人の記憶がなく、目撃者もいないため不明である。		
11	15~ 16	支店工場内で、製品（メーターボックス800×2100）の上についている符号確認作業の為脚立を登っていた際、90cm程の高さで足を踏み外し、足から落ちて左足踵を骨折負傷した。	54	1~ 9
11	10~ 11	被災者は、地下5階南工区で梁のフープ筋を1人で種分け作業をしていた。その真上（高さ約3m）の鉄骨梁上で別の鉄筋工2名が梁配筋作業をしており、持っていた宙吊り主筋（D32長さ7.5m重さ約46.7kg）を吊り金物フックに乗せて、鉄筋を結束しようと手を離れた時鉄筋を落とした。その時に、下にいた被災者の頭（ヘルメット着用）に当たり被災した。	77	1~ 9
11	17~ 18	作業所前に積んであった外壁材を移動させようとした時に、小雨が降って濡れていたため手が滑って外壁材が落下して、右足の親指に当たってしまった。	27	1~ 9
11	9~ 10	新築工事現場にて作業中に負傷する。約15kgの木枠パネルを、業務用エレベーターで3階から4階に上げた際に、4階の作業員がパネルを持ち上げようとしたが、何かに手が引っ掛かり、パネルが手を離れそのまま3階に落下した。その際に、3階にいた被災労働者の左母指に当たり負傷する。	70	1~ 9
11	11~ 12	外部足場解体初日、建物北面にて上層部より足場を解体し、下段各段に配置した作業員に手渡しし、1階まで荷降ろしをしていた。11段目の布板を取り外し、下層に荷降ろしをしている際、8段目の作業員が7段目の作業員に渡しそびれて布板が落下した。6段目にいた作業員の首に当たった後、方向を変えて1階まで落下し、荷捌き作業をしていた被災者の頭に当たった。吹き抜け部には落下養生棚を設け、開口真上での荷降ろしは避けていたが、方向の変わった布板が、開口部に落下した。	37	10 ~ 29
12	14~15	解体現場にて建物の壁を解体作業中、壁上部の一部が重みにより落下し、壁の下部を手作業で解体していた為、右上腕部を落下物で挟まれ負傷したものである。	27	10 ~ 29
		9F立ち上り、10Fスラブコンクリート打設前段取りで、10Fスラブから9Fスラブに配管を下げる作業中、9Fスラブ足場上で3m配管を取り付けようとしたところ、9F		

12	8~9	部分に異変を感じ、直そうとして声をかけたが、上階の作業員がそのまま配管を支えきれず、下にいた作業員の手の指に落ちてしまった。	34	—
12	15~16	現場4Fで型枠組立作業中、型枠材に穴を開けようと墨壺を使用していた際、墨壺の先端（カルコ部）の差しが甘く、先端部が抜け、その反動により抜けた先端部が左目に刺さり負傷した。	66	1~9
12	11~12	2tトラックの荷台に積んであった軽量材（L5.0m）を、被災者が荷台に乗り、1人で手作業にて荷下ろしをしていた際、体勢を崩して荷台から地面に墜落し、同時に荷台の軽量材3束が被災者側に落下して被災者に当たり、左方と左胸部を負傷した（左鎖骨・左肋骨骨折）。	43	1~9
12	9~10	1F床上で、アルミサッシを取り付けるための下地木材を、エアードリル機にて留め付ける作業をしていた際、ロール釘を結んでいるワイヤーが、釘を打った際に目の中に飛散した。	55	10~29
12	9~10	会社敷地内において、樹木の撤去作業前にチェーンソーの点検作業中、誤ってチェーンソーを左膝に当ててしまい負傷した。	45	10~29
12	11~12	改築工場の現場において、室内で鋼製棚の分解中、下で作業していたところ、上で作業していた人が誤ってインパクトを落とし、右足の中指に直撃し負傷した。当日痛みはあったが夕方まで作業し、会社に帰ってから靴下を脱いだところ、腫れが酷かった。右足中指第1・第2関節骨折で全治2週間となった。	59	1~9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html